

地域ブランド シンポジウム in 福島

●定員●
100名
(先着順)無料

日時 **平成25年
3月22日(金)**
13時30分～17時00分

—地域ブランドの力で
復興と発展を実現する—

会場 **ホテル福島グリーンパレス**
福島市太田町13-53
TEL 024-533-1171)

●基調講演

地域ブランドの保護と活用 ～富士宮やきそばの 成功モデル～

講師：渡邊英彦 氏 / 富士宮やきそば学会 会長

【渡邊英彦氏 プロフィール】1959年、福島市生まれ。国際基督教大学教養学部語学科卒、外資系損保AFIA勤務後帰郷、社団法人富士宮青年会議所理事長、富士宮やきそば学会会長、(社)B級ご当地グルメでまちおこし団体連絡協議会(愛Bリーグ)代表理事、他公職を歴任。また静岡大学非常勤講師等、教育界でも活躍。地方自治功勞により総務大臣表彰など受賞多数。平成18年と19年に「富士宮やきそば」でB-1グランプリ連続優勝。「ヤクソバイブル(面白くて役に立つまちづくりの聖書)」、「B級ご当地グルメで500億円の町おこし」出版。他テレビ出演、講演多数。



●パネルディスカッション

なみえ焼そばのブランド化

モデレーター：佐藤辰彦 氏 / 弁理士

パネリスト：渡邊英彦 氏 / 富士宮やきそば学会 会長
佐藤 薫 氏 / 東北経済産業局特許室長
橋 弦一郎 氏 / 浪江焼麺太国
松田雅章 氏 / 弁理士

●主催
日本弁理士会

●後援
福島県、特許庁、復興庁、東北経済産業局、独立行政法人 中小企業基盤整備機構東北本部、一般社団法人 福島県発明協会、福島県商工会議所連合会、福島県商工会連合会、JA全農福島、日本農業新聞、河北新報社、福島民友新聞社、福島民報社 (予定)

● 開催趣旨 ●

東日本大震災に伴って発生した福島第一原発事故による避難区域の住民は、故郷を離れ、全国各地に散らばっての生活を余儀なくされ、いつになれば故郷で元の生活に戻れるのか、予想もつかない状況です。

このような状況を受け、日本弁理士会では、浪江町に対して、B1グランプリで2年連続4位入賞の「なみえ焼そば」の保護活用に対する支援活動を開始し、浪江町の人々が故郷を離れても、「なみえ焼そば」のブランドを絆として一つの思いで繋がっていただけるよう助力しております。

そこで、同じ焼そばをテーマに「富士宮やきそば」

ブランドを確立し、地域おこしを実現された、富士宮やきそば学会会長の渡邊英彦氏をお迎えして、氏がどのように「富士宮やきそば」のブランド化を実現されたかをお話いただくとともに、故郷に戻れない状況下において「なみえ焼そば」のブランドを如何に活用して将来の故郷の復興と発展に繋げていくか、についてパネルディスカッション形式で議論致します。

近い将来には商標法が改正され、地域団体商標の取得もより容易になる見込みです。本セミナーが東北の皆様への復興へ向けての一助となりますことを願ってやみません。

会場までのアクセス



プログラム（地域ブランドシンポジウム）

- 13:00 開場
- 13:30 (10分) 主催者挨拶 ●日本弁理士会会長 奥山尚一
- 13:40 (60分) 基調講演
テーマ:「地域ブランドの保護と活用
～富士宮やきそばの成功モデル～」
●講師:富士宮やきそば学会会長 渡邊英彦氏
- 14:40 (15分) 休憩
- 14:55 (30分) 地域団体商標制度の概要と東北地域の成功事例
●講師:弁理士/松田雅章氏
- 15:25 (90分) パネルディスカッション
「なみえ焼そばのブランド化」
モデレーター ●弁理士/佐藤辰彦氏
パネリスト ●渡邊英彦氏
●東北経済産業局特許室長/佐藤 薫氏
●浪江焼そば/橘 弦一郎氏
●弁理士/松田雅章氏
- 16:55 閉会挨拶 ●日本弁理士会副会長 鈴木 知
- 17:00 シンポジウム終了

参加申し込み方法

下の申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
または下記の日本弁理士会のホームページからもお申し込みいただけます。

<http://www.jpaa.or.jp/>

日本弁理士会

検索

締切

3月19日
(火)

▼ FAXでのお申し込みは ▼

日本弁理士会 広報・支援・評価室 FAX番号 03-3519-2706

この用紙を切らずにFAX送信してください。

氏名	フリガナ	フリガナ

連絡先		

お問い合わせ先：日本弁理士会 広報・支援・評価室 電話番号 03-3519-2361